



会派清新
荒木 文一

高等看護学院生の現況について

質問 在院生の中で本市出身者数はどれくらいか伺う。

答弁 在院生76人中29人が本市在住。また、過去5年間の入学者124人のうち80人が市外からの入学者で、大きな変動はありません。

質問 受益者負担の観点から高等看護学院の授業料について伺う。

答弁 高等看護学院は看護師養成所として地方交付税措置がされており、看護師の養成や看護師確保の観点から現行の授業料が適当だと判断します。

看護師確保について

質問 高等看護学院生の看護師採用後の定着率について伺う。

答弁 平成27年12月1日現在、滝川市立病院には206人の看護師がおり、そのうち147人が高等看護学院の卒業生であり、直近5年間で見ても定着率は高い値を示しています。

看護教育の高度化について

質問 本市の看護教育の高度化についてどのように考えるか伺う。

答弁 看護専門学校と看護大学ではカリキュラムの違いがあります。

看護専門学校では現地実習に比重を置いており実践重視のカリキュラムが組まれ、現場配属後は即戦力となります。看護大学では一般教養課程も含め専門知識以外の幅広い知識習得が可能です。看護専門学校卒業後は看護師国家試験受験資格を得られますが、看護大学卒業の場合はさらに保健師や科目選択により助産師国家試験受験資格も得られます。本市の高等看護学院は看護師確保で一定の役割を果たしてきました。看護大学の場合は入学者が全国から集まり、就職先も全国にわたることなどから市立病院にとっては看護師確保が困難になることが予想されます。高等看護学院では看護大学への編入実績もあり、また、平成25年11月に締結した北海道医療大学との包括連携事業として、編入の実績もあり、今後も看護教育の高度化に対応したいと考えています。



日本共産党
館内 孝夫

財政健全化計画・保育行政について

質問 「保育所施設の老朽化に加え耐震補強が困難な施設があることから、今後のあり方について検討を進める。」とされているが、耐震補強が困難な理由は何か。改修工事にかかる費用や建物の構造上の問題なのか伺う。

答弁 耐震補強が困難な施設は、鉄筋部分の両側をコンクリートブロックで挟む構造で、耐震改修がしにくい。改修を施し強度が上がったとしても、現耐震基準に合致しないことから補助金の対象外となり、耐震補強が困難と判断しました。

また、基準に合致せず仮に改修を行うとしても、施設の老朽化に伴い、耐震改修と同時に施工する必要がある給排水設備改修、電気設備工事など、総額で5,000万円程度と見込んでいます。市では耐震改修ができない施設の利用

については、利用者の安全を最優先にする立場から、利用の中止を検討せざるを得ないと判断します。

質問 施設利用者に対する説明会などの予定はあるのか伺う。

答弁 検討すべきところが多くあり、市としての方針が定まっていない段階で行うと混乱を招くおそれがあることから、今後の方針がはっきりした段階で、利用者に説明を行いたいと思います。

質問 「滝川市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定したが、その基本目標の中で子育て支援を重点にしている。しかし、今回、多子世帯の保育料金の激変に対して支援しないのは矛盾しているのではないか。また、今からでも実施すべきと考えるがいかか。

答弁 子育て支援の重要性については、人口減少・少子高齢化が進んでいる中で当然重要視されるべきものと考えています。

本市においては近隣市に先駆け、病後児保育、ファミリーサポートセンター開設など、子育て支援の充実に取り組んでおり、今回の保育料金改定については国に対して改善の要望をしています。